

平成19年度 選挙管理委員会事務局 改革manifesto 自己検証シート

1) 目標と成果

マニフェスト	項目名 (担当部署)	集中改革プラン 項目	取り組み内容	区分	成果指標			活動指標			活動指標			自己評価	
					H17	H18	H19	H17	H18	H19	H17	H18	H19		
1	開票事務の迅速化 (選挙管理委員会)	7-3	正確性を基本として開票事務を見直し、効率的で迅速な開票事務を推進することで市民にいち早く選挙結果の公表を行うとともに、コストの削減を図るために、本年度予定しています第21回参議院選挙において開票確定1時間30分を目指して取り組みます。	指標名	参議院通常選挙における開票確定時間			参議院通常選挙開票事務に係る事務従事者報酬の総額			開票リハーサルの実施			B	
				指標の算式等											
				目標(A)			1時間30分			1,712千円					1回
				実績(B)			4時間55分			2,567千円					1回
				(A)と(B)の比較			3時間25分			855千円					0回

2) 取組過程と取組み後の対応

区分	チェック項目	自己評価	自己評価について(所見)
取組過程	取り組みの段階において市民への説明やPRを十分に行ったか。また市民からの質問に対応する方法や体制が確立されていたか。	C	
	目標達成に向けた部局内の体制は効果に対し相応な対応であり、かつ万全であったか。(過剰な活動や予算、人員による取組みがなかったか。)	C	人員の配置や総数において、改善を要する。
	部局長のリーダーシップのもと、目標達成に向けた所管職員の意識啓蒙や部局内の風土づくりが行われたか。	C	目標の達成のため、職員の意識改革、小道具の有効利用、開票立会人の信頼を得ることを3つの重点項目として取り組んだ。小道具の有効利用は上手くいったが他の2つは課題を残した。
	所管職員が佐渡市行政改革manifestoの趣旨と内容を十分に理解し、目標の達成に向けて精力的に取り組んでいたか。	C	事務局職員は目標を充分承知し、達成に向けて努力した。
	目標達成のための行程管理や関係機関等との調整が適切に行われていたか。	C	開票事務従事者への説明が不十分であったのか、事務局の意図するところが伝わらなかった。次の選挙に向けて改善を要する。
取組み後の対応	目標の達成に対する効果(アウトカム)の把握、または把握することの手立てをしたか。	E	効果の把握はしていない。
	目標を達成していない項目については、具体的な改善策を計画し、または他の手段により対応したか。	C	上記時間は比例代表選出議員選挙の開票時間であり、選挙区選挙の開票時間では1時間55分で開票を終了している。両方とも、目標までは達していないが、両方の選挙を見直し、市民に早く結果を知らせられるよう事務を改善していきたい。
	実績と今後の対応について市民に説明を行ったか。	E	議会総務常任委員会では説明をしたが、直接市民に説明をする機会がない。

平成19年度 選挙管理委員会事務局 改革マニフェスト 自己検証シート

<p>取り組みの過程と実績、課題点などについて部局内で話し合わせ、所管職員が状況を理解しているか。</p>	<p>C</p>	<p>結果と問題点については総括している。</p>
<p>実績に対する市民の質問や要望に対応する方法を確立したか。</p>	<p>C</p>	<p>資料を用意し、質問に答えられる体制である。</p>

3) 総評

<p>今年度の取り組みに対する部局長のコメント</p>	
<p>新潟県議会議員選挙の結果は良かった。その経験を下に取り組んだところであるが「目標」に対する結果は良くなかった。これは、疑問票が多数出たため、その対応が不十分であった。他候補者の票が混入していたため開票立会人の信頼を得られなかった。ことによるもので、得票の再チェック等に時間を要した。次回選挙にはこれ等の問題点を見直し、改善したい。しかし、前回の選挙と比較すれば改善されている。</p>	
<p>【良かった点】</p>	<p>目標に向かって事務局が工夫努力をし、事務の改善に取り組んだ。</p>
<p>【悪かった点】</p>	<p>票の分類方法を研究する必要がある。先進地の事例を調査し改善したい。</p>